

平成25年度 事業計画

私たちが暮らす地域には、社会状況の変化や少子高齢化、コミュニティの希薄化等に伴い、多様化し潜在化した複合的な福祉課題を抱えている人たちが少なくありません。家庭での問題解決機能が低下し、また公的サービスだけでは全ての課題を解決することができない中、地域で暮らす全ての人とその人らしく幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティネット機能の強化が重要となります。

このような状況において、本会は、「第4期地域福祉活動計画」や「社協起動プラン」に基づきながら、これまで以上に地域支援や個別支援に重点的に取り組みます。シニア世代のボランティア活動を促進する各種事業や、ちょっとした困りごとの解決を行うサポーターの養成、実施3年目を迎える「地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業」等に取り組むほか、認知症高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「ずーっとあんしん安らか事業」や「法人後見事業」の充実に努めます。

重点項目

- 1 シニア世代のボランティア活動参加推進
 - (1) シニアアシストふくおか事業〈新規〉
 - (2) シニア地域サポーターモデル事業〈新規〉
 - (3) 介護支援ボランティア事業
- 2 あんしんシステムの構築
 - (1) 日常生活自立支援事業
 - (2) ずーっとあんしん安らか事業
 - (3) 成年後見支援事業
- 3 地域福祉活動の充実
 - (1) 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業
 - (2) ふれあいネットワーク・サロンの拡充
 - (3) 生活支援サポーターモデル事業〈新規〉
 - (4) 地域福祉活動支援に役立つツールの提供
- 4 社協起動プランの実行
 - (1) 職員研修の充実
 - (2) 自己研鑽の支援
 - (3) 人事評価システムの構築〈新規〉
 - (4) 課題検討会議の実施

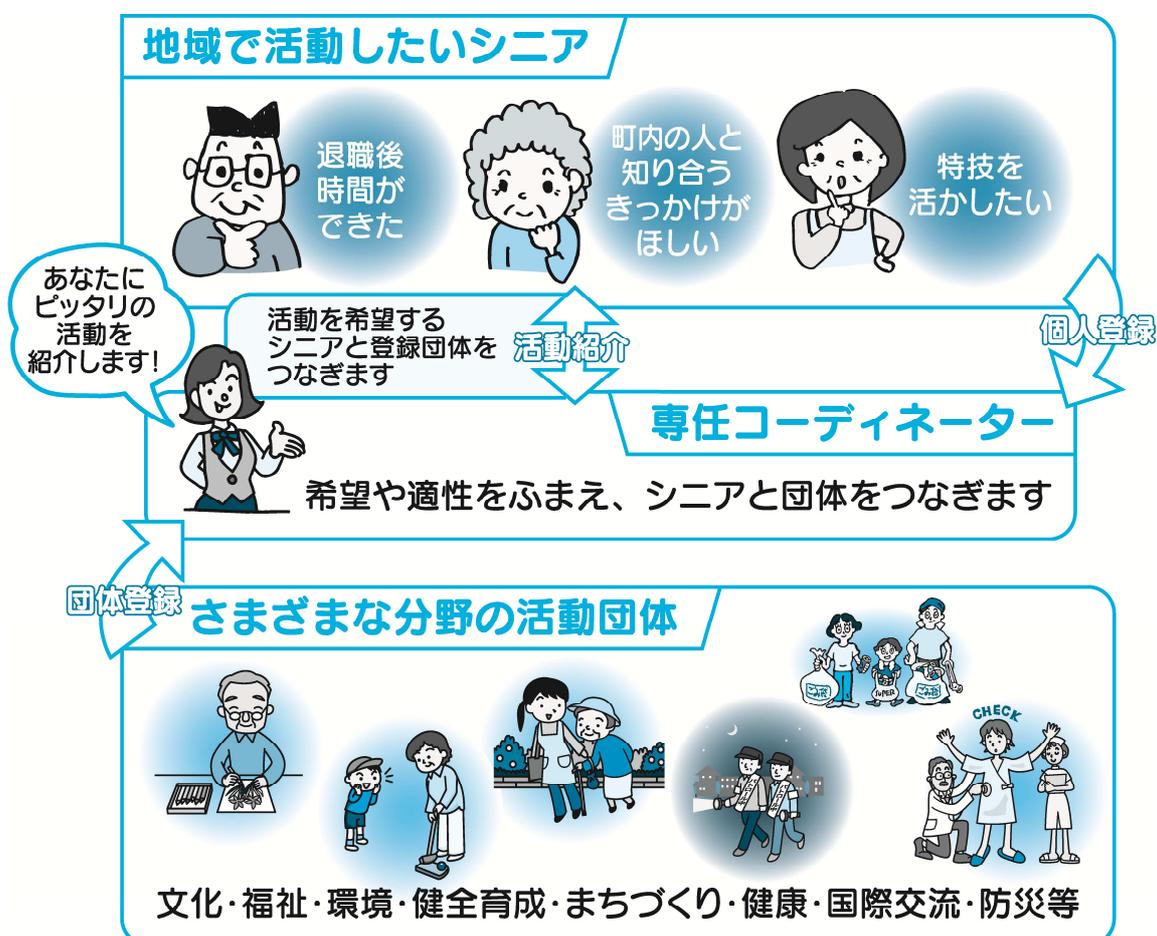
1. シニア世代のボランティア活動参加推進

シニア世代に「地域」や「施設」、「まちづくり」といった様々な場面でのボランティア活動を紹介して、社会参加や生きがいを支援します。

(1) シニアアシストふくおか事業〈新規〉 (3,919千円)

自分の経験や知識を地域活動やボランティア活動に発揮して、生きがいづくりや心身の健康の維持につなげ、セカンドライフを応援します。

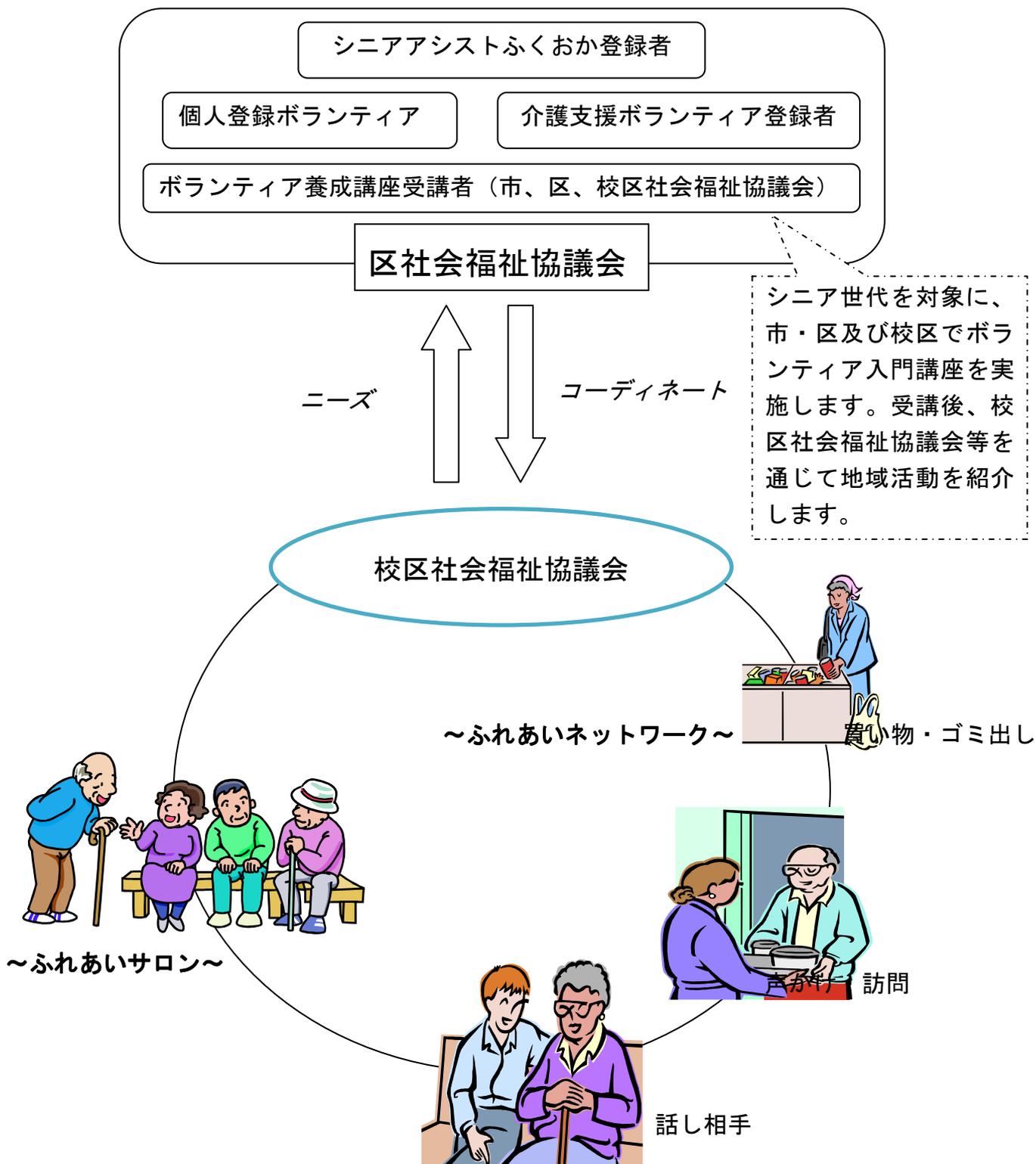
- ① 活動を希望するシニア世代に対して、地域活動団体やボランティア団体の情報を提供し、活動への支援を行います。
- ② シニア世代の活動の場となる地域活動団体やボランティア団体に対し、人材発掘・育成や団体運営の支援を行います。
- ③ 地域におけるボランティア活動に取り組むきっかけづくりとしての魅力的な講座を開催します。



(2) シニア地域サポーターモデル事業〈新規〉

(1, 125千円)

区社会福祉協議会が、シニア世代のボランティア活動希望者に対し、ふれあいネットワーク・サロンなどの地域福祉活動への参加に向けてコーディネートを行います。

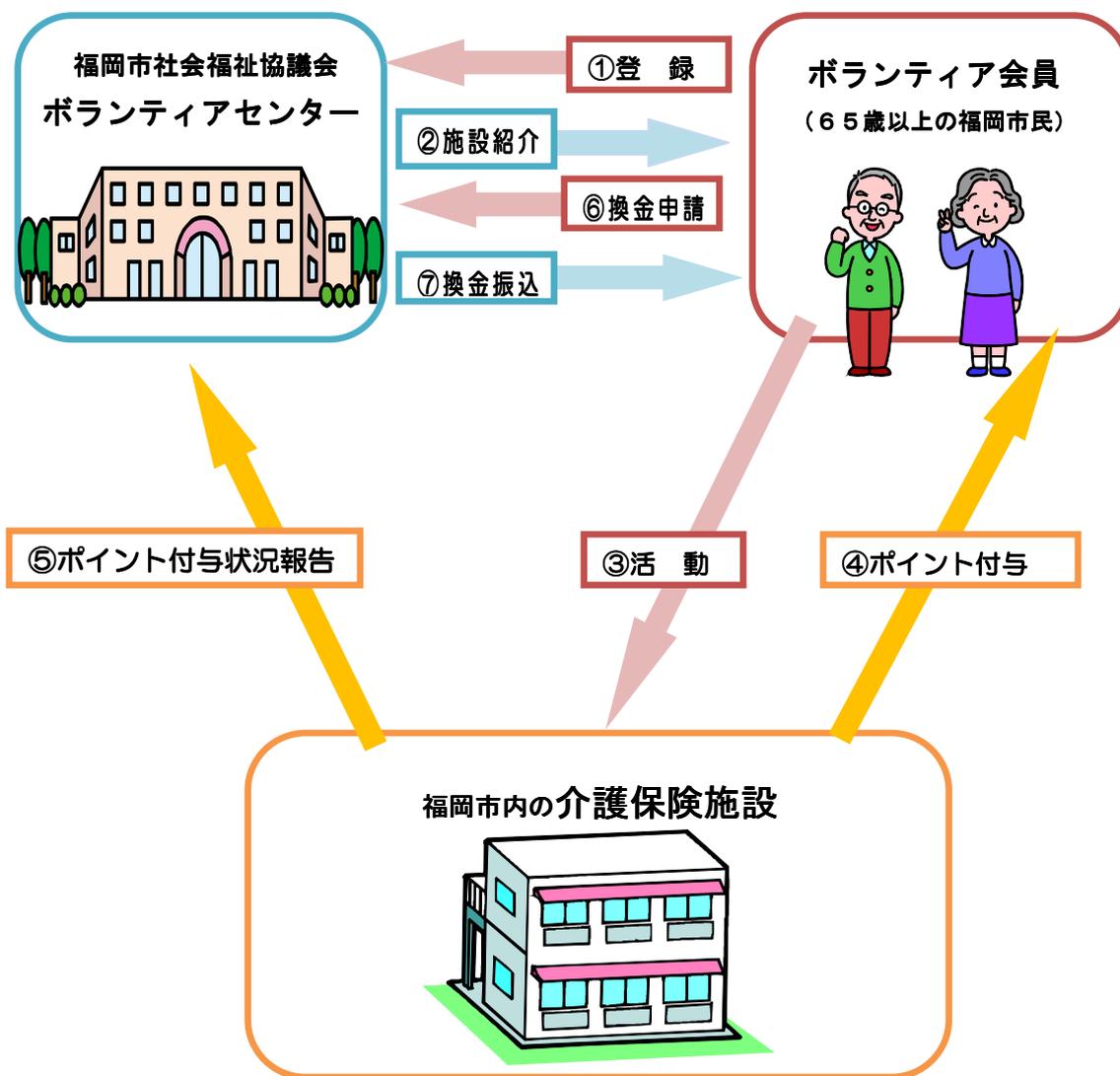


(3) 介護支援ボランティア事業

(15,235千円)

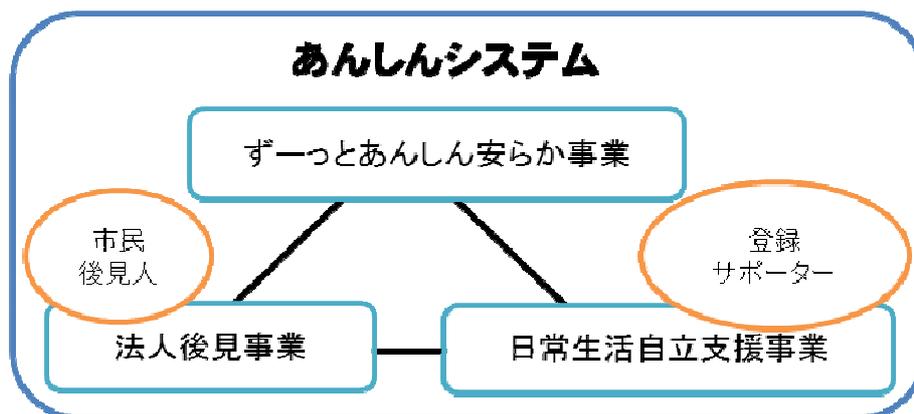
65歳以上の元気な高齢者のボランティア活動を支援する制度です。介護保険施設でボランティア活動を行って「ポイント」をためると、換金又は寄附することができます。

元気な高齢者の社会参加や生きがい・健康づくりを支援し、介護予防に役立てていただくとともに、地域における高齢者のボランティア活動を奨励、支援します。



2. あんしんシステムの構築

日常生活自立支援事業・ずーっとあんしん安らか事業・法人後見事業がそれぞれの役割を活かしながら有機的に連動することにより、初期の認知症から死後事務までの支援を一元的に担うことができる「あんしんシステム」を構築します。このシステムの運用により、個別支援活動を推進していきます。



(1) 日常生活自立支援事業

(72,667千円)

認知症や精神・知的障がいにより、日常生活上の判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れや病院や福祉サービスの利用料等の支払などの金銭管理、日常生活に必要な事務手続きなどを支援します。

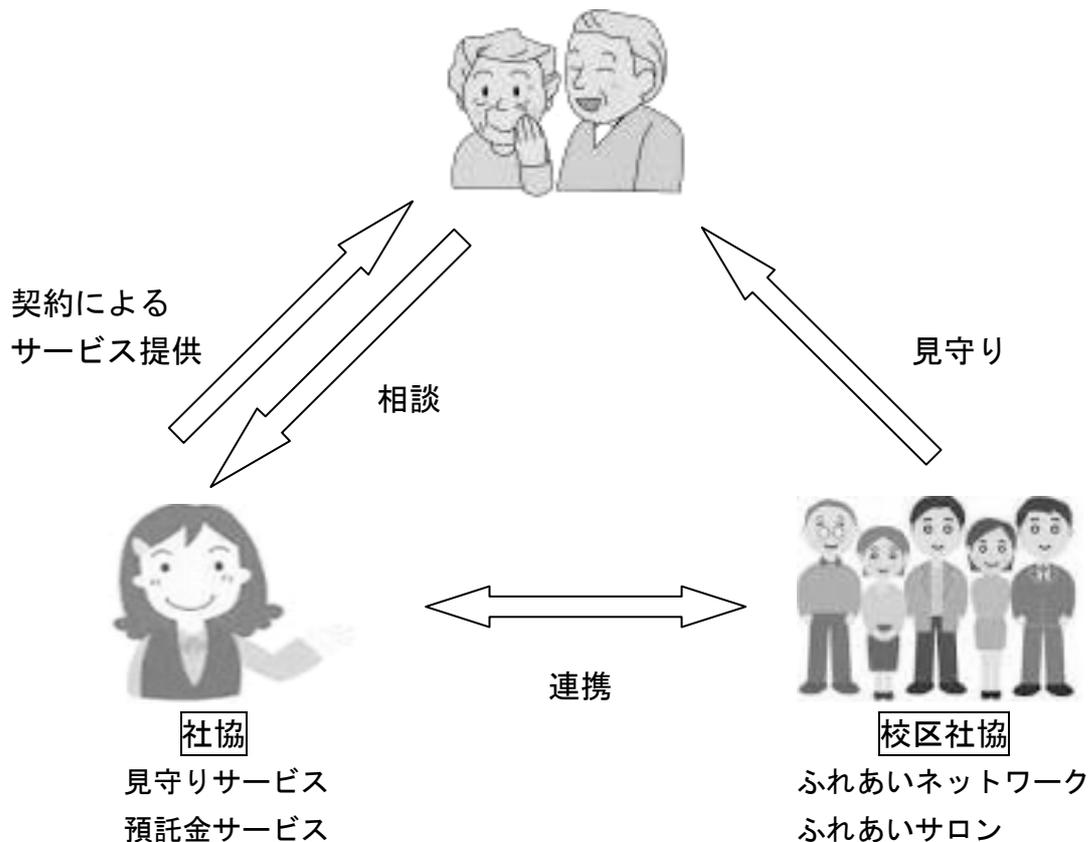
(2) ずっとあんしん安らか事業

(3, 419千円)

身寄りのいない高齢者等が安心して生活を送れるよう、事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分などのサービスを実施します。また、契約後は定期的な見守りや入退院時の支援などを行います。

【サービス内容】

- 見守りサービス
定期的な連絡や訪問を行います。
- 預託金によるサービス
予め預託金を預かり、契約者が亡くなった場合にその金額内での葬儀の実施や必要経費の支払い、残存家財の処分などを行います。
- 書類等預かりサービス
入院中等に預貯金通帳や年金証書などをお預かりします。
- 入退院支援サービス
入退院時の付き添いや準備、入院中の預金払戻しや支払いを代行します。



(3) 成年後見支援事業

(13,643千円)

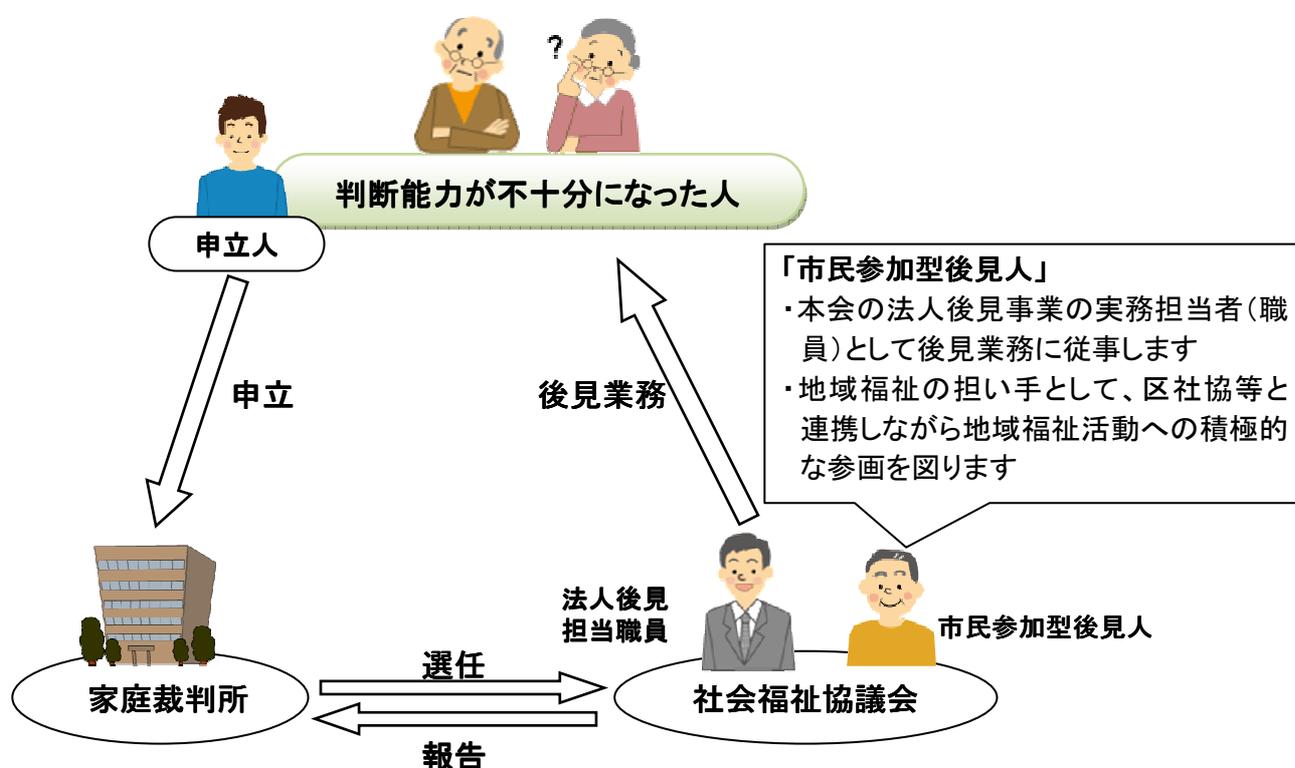
親族や専門職による後見人が得られにくい人に対して、本会が後見人等に就任します。また、成年後見制度の新たな担い手である「市民後見人」を養成し、本会による法人後見事業の実務担当者として積極的な活用を図ります。

① 市民後見人養成事業（福岡市の委託事業）

成年後見制度の新たな担い手として、必要な知識や技術を習得し活動を行う市民後見人を養成するための研修を行います。

② 法人後見事業

市民後見人養成研修を修了した市民を活用した法人後見事業を実施します。認知症高齢者や知的・精神障がい者等の尊厳ある暮らしを地域住民とともに支えるしくみを構築することで、親族や専門職後見人とは異なる市民の持ち味をいかした後見活動を展開します。



3. 地域福祉活動の充実

地域福祉活動の充実を図るため、地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業で培われた手法を区社会福祉協議会の地域支援に活かします。

また、ふれあいネットワークやふれあいサロンなどの既存の活動支援を行うとともに、「生活支援サポーターモデル事業」などのあらたな支え合いの仕組みづくりを行い、「地域包括ケアシステム」において社協が担う役割を確立します。

(1) 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（福岡市の委託事業）

(21,902千円)

高齢者や障がい者などの見守り活動は、地域の成り立ちや社会資源等の違いから、画一的に行うには限界があります。また、高齢者が増加する中、見守り活動に携わる人たちの拡充が必要です。

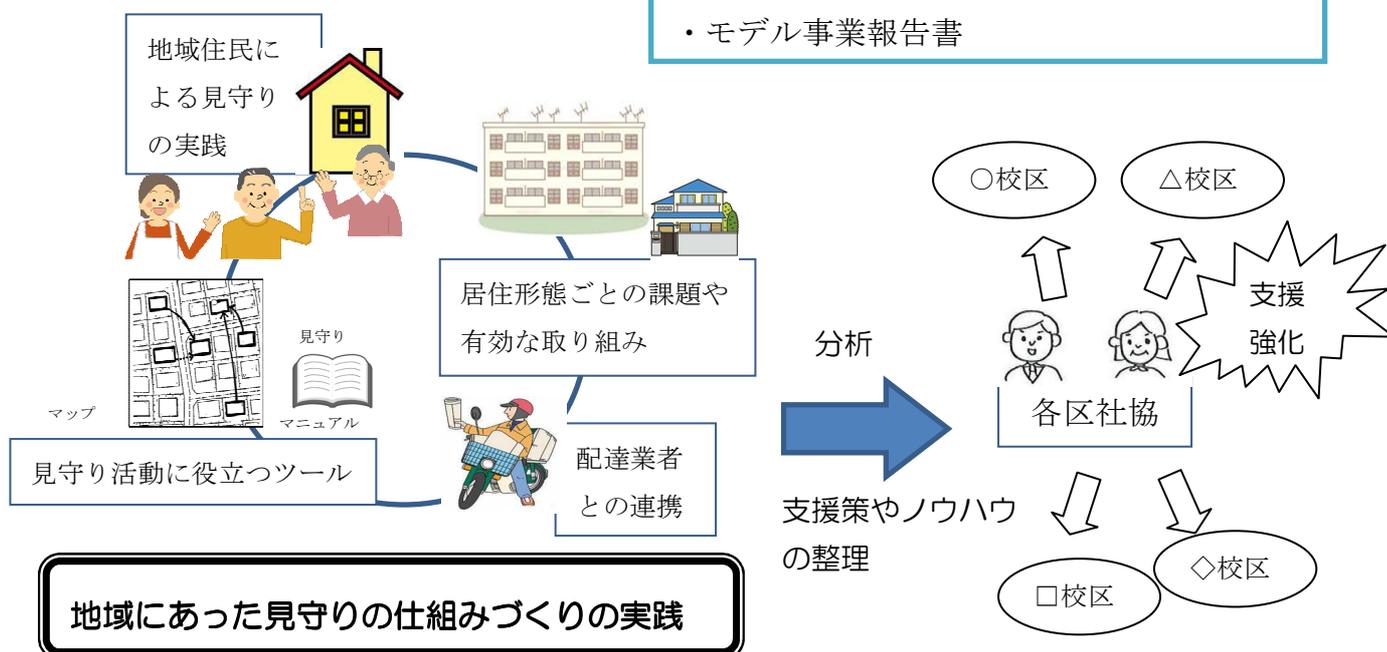
そこで、平成23年度から、モデル校区（7校区・1地区）に専任職員を配置し、地域の特性に合わせた見守りのしくみづくりを実施しています。

モデル事業最終年の平成25年度は、モデル事業終了後も継続できる見守りや助け合いのしくみづくりを支援するとともに、モデル事業を通じて把握した居住形態ごとの課題や有効な支援策等の分析を行い、区社協の地域支援業務に活かします。

また、地域福祉活動の支援を展開するにあたり、職員の専門性を高めるため、地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業で培われた手法等をテーマとした研修も実施します。

〈作成を予定しているもの〉

- ・モデル校区版見守りマニュアル
- ・汎用版見守りマニュアル
- ・地域福祉ソーシャルワーカー活動事例集
- ・モデル事業報告書



(2) ふれあいネットワーク・サロン等の拡充に向けた取り組み

(38,807千円)

共同募金や福岡市地域保健福祉振興基金を財源として、ふれあいネットワークやサロン等の地域福祉活動について引き続き助成します。

また、福祉に関する研修を通じて、活動に役立つ情報提供を行うとともに、支え合いマップづくり等の実施や平成24年度に実施したふれあいネットワーク活動調査結果を活かすなど、活動の拡充に努めます。

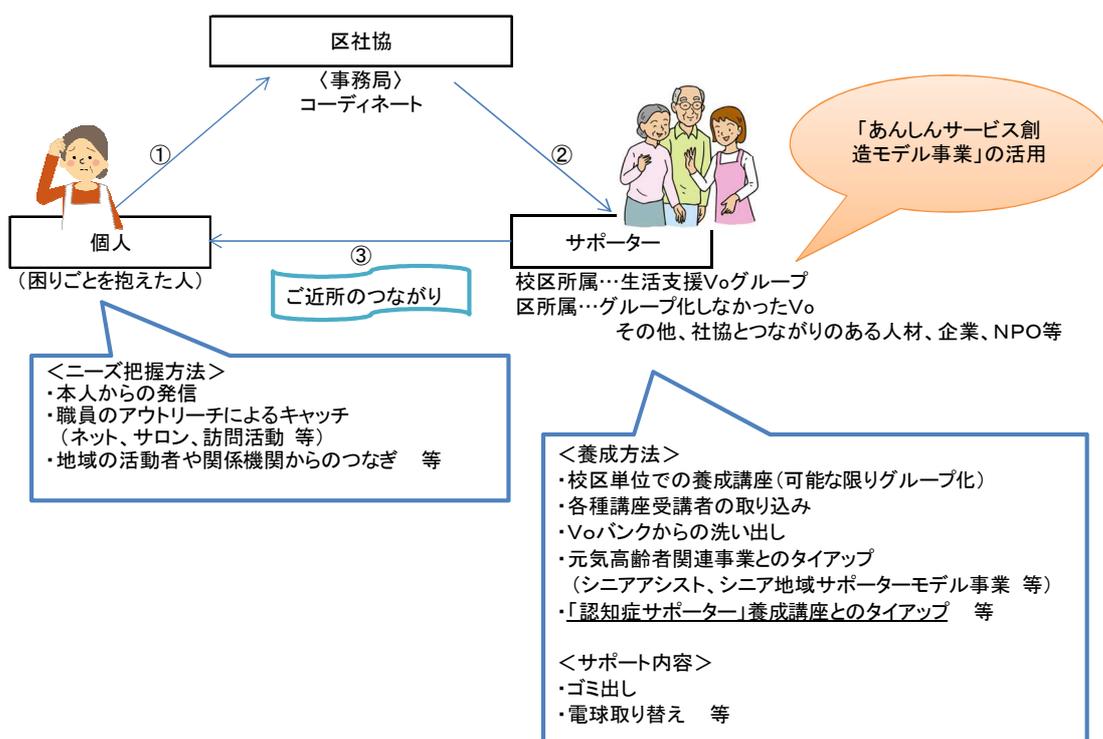
(3) 生活支援サポーターモデル事業〈新規〉

(824千円)

高齢者や障がい者等が抱える“ちょっとした困りごと”の解決を行うための人材「生活支援サポーター」を養成するとともに、社協がその人材と地域・個人とをコーディネートします。

地域における生活支援サービスの向上に向けて、また、「地域包括ケアシステム」において社協が担う役割の第一歩として、南区でモデル的に実施してノウハウを蓄積し、全市での実施に向けて検証します。

また、生活支援を行うボランティアグループが組織化されるにあたっては、初期費用の助成（「あんしんサービス創造モデル事業」）を行います。



(4) 地域福祉活動支援に役立つツールの提供

(314千円)

区社会福祉協議会が地域との関係づくりを行う上でのツールとして、緊急時連絡カードの配布や、「社協ワーカーだより」や「買い物支援ハンドブック」の発行を行います。

4. 社協起動プラン（案）の実行

（4, 345千円）

社協起動プランを基本とし、職員の資質の向上や課題解決の仕組みの整備に努めます。

（1）職員研修の充実

地域福祉に関する研修をはじめ、階層別研修を組み合わせて実施し、職員の資質の向上を目指します。

（2）自己研鑽の支援

① 実践事例発表会の実施

職員が職務の実践に基づき、研究した内容について、論文を作成し、それを発表する機会を設けます。

② 自主勉強会への費用助成

職員が自ら企画した勉強会に対し、その費用の一部を助成します。

③ 資格取得費用の助成

社会福祉に関する専門知識向上のため、社会福祉士等の資格取得に係る費用の助成を行います。

④ 職員表彰の実施

業務の実績を上げているものや職務の内外を問わず、善行により社協全体の信用をあげたものに対し、表彰を行います。

（3）人事評価システムの構築

評価制度の中で職員の実績を明らかにしていくとともに、目標を決めて実行し、結果を残すという過程を見る目標管理制度を導入するなど、評価制度を構築します。

（4）課題検討会議の実施

各区社協がアウトリーチを通じて把握した地域の課題等に対し、解決を行うための作戦を立案し、区社協と協力して解決にあたるための会議を設け、作戦検討し実行に結び付けます。

事業項目

1 地域の支え合い活動の充実を図ります

(1) 校区社協とともに進める福祉のまちづくり (54,863千円)

地域の福祉活動の推進役である校区社協が中心となり、より充実した活動を進められるよう地域の実情に応じた人材育成や広報活動の支援を強化するとともに、住民自らがそれぞれの地域の福祉課題に気づき、解決に向けて取り組めるよう支援します。

- ① 校区社協への活動支援
- ② 校区社協会長研修会
- ③ 校区福祉座談会の開催

(2) 住民の主体的参加と相互に支え合うまちづくりの推進

(73,126千円)

高齢者や障がい者等が地域で孤立しないよう見守り、相互に支え合うまちづくりを推進します。

- ① ふれあいネットワーク活動の拡充
新規活動開始や、見守り体制確立へ向けた働きかけを行います。
- ② ふれあいサロン活動の拡充
地域の実情に応じた実施へ向けた働きかけを行います。
- ③ あんしんサービス創造モデル事業
- ④ 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業 (再掲)
- ⑤ シニアアシストふくおか〈新規〉(再掲)
- ⑥ シニア地域サポーターモデル事業〈新規〉(再掲)
- ⑦ 安心情報キット配付事業
- ⑧ 見守り対象者情報の整理支援
- ⑨ 買い物支援ハンドブックの作成 (全区展開)〈新規〉
- ⑩ 生活支援サポーターモデル事業〈新規〉(再掲)

(3) 地域で進める子育て支援

(27,591千円)

子育て中の人たちが、地域で孤立することなく安心して子育てができるよう、地域での子育て支援活動を推進します。

- ① ファミリー・サポート・センター事業の拡充
会員数の増加に向けた働きかけを行い、子育て支援活動の充実を図ります。
- ② 子育てサロン・サークルの支援

(4) 民生委員児童委員協議会との連携 (44, 411千円)

民生委員児童委員協議会助成事業等

(5) 共同募金、寄付金等を活用した福祉のまちづくりの推進 (25, 654千円)

- ① 友愛訪問事業
- ② 共同募金配分事業
- ③ 奉仕銀行運営事業

(6) その他の社協事業 (70, 602千円)

- ① 区社協事業（区ボランティアセンター事業等）
ボランティアマッチング件数の増加を図ります。
- ② 市社協事業（行旅病人等一時扶助事業、全九州電力労働組合福祉基金事業等）
- ③ 緊急時連絡カード事業

2 多様なボランティア活動を推進します

(1) ボランティア活動相談・調整事業の強化 (4, 579千円)

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関への働きかけを行います。また、ボランティアのすそ野を広げるため、ボランティア活動希望者が、実際の活動に結び付くよう支援します。

- ① ボランティアコーディネーション事業
- ② 施設・病院等ボランティアコーディネーター研修会
- ③ ボランティア活動情報の収集・提供
 - (ア) 登録ボランティアグループ状況調査
 - (イ) 施設等ボランティアニーズ調査
 - (ウ) ボランティア情報紙「風」発行
 - (エ) 芸能ボランティア情報冊子発行

(2) ボランティアの育成、活動支援 (7, 398千円)

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを育成します。また、ボランティアグループの活動を支援します。

- ① 各種ボランティア養成講座の充実
 - (ア) 技術ボランティア養成講座（音訳、点訳、ガイドボランティア）
 - (イ) ボランティアリーダー研修会
 - (ウ) シニアボランティア講座
 - (エ) 課題別ボランティア養成講座
 - i) 高齢者外出支援ボランティア養成講座

- ii) バリアフリー映画支援ボランティア養成講座
- (オ) 企業ボランティア養成講座
- (カ) 「勤マルの日」事業
- ② 登録ボランティアグループへの支援
 - (ア) 活動拠点・資材・情報の提供
 - (イ) 福岡市ボランティア連絡協議会への支援
 - (ウ) 在宅視覚障がい者サービス事業等

(3) 災害ボランティア活動の推進 (949千円)

災害時にボランティアセンターが十分に機能するよう、緊急通信網と情報収集・提供の環境を整えます。また、行政や市内の自主防災組織、防災士会、NPO 団体等と速やかに連携できるよう定期的に連絡会を行うなど、体制づくりを行います。

- ① 災害時用無線 LAN の設置
- ② 防災イベント（関係機関との協働）への参加
- ③ 災害 NPO・ボランティアとの連絡会の実施
- ④ 災害ボランティア講座の開催

(4) 介護支援ボランティア事業（再掲） (15,235千円)

3 その人らしい暮らしを支えます

(1) 相談機能の充実・強化 (27,548千円)

生活課題を抱える人たちのサインを見逃さないようにするため、総合相談機能を充実・強化します。

- ① 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（再掲）
- ② 心配ごと相談所事業
- ③ 「相談窓口のてびき」作成事業

(2) 個別支援の強化・拡充 (207,180千円)

高齢者や障がい者などが住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域福祉活動との連携を図りながら、本会が実施する個別支援サービスを強化・拡充します。また、個別支援を通して得られる新しいニーズの発見と解決に取り組みます。

① 日常生活自立支援事業（再掲）

判断能力が不十分なため、日常生活を営むことが困難な高齢者や障がい者などに対し、福祉サービスの利用や日常金銭管理の援助を行います。

また、利用料（1回のサービスにつき1,000円）は、平成24年度までは生活保護世帯は無料としていましたが、支援計画以上のサービスを行う時は、やむを得ない場合をのぞいて利用料を徴収することとし、サー

ビスの適正利用をはかります。

② 高齢者住宅相談支援事業

民間賃貸住宅をお探しの高齢者に対し、ご希望に合う物件情報や生活支援サービスに関する情報を提供します。また、必要に応じて、物件の内覧や契約時の同行・同席の支援を行います。

③ ずっとあんしん安らか事業（再掲）

高齢者が安心して生活を送れるよう、事前に本会が預託金を預かり、葬儀・家財処分等のサービスを実施します。また、定期的な見守りサービスや入退院の支援などを行います。

④ 法人後見事業（再掲）

親族や専門職による後見人が得られにくい人に対して、本会が後見人等に就任します。また、成年後見制度の新たな担い手である「市民後見人」を養成し、本会による法人後見事業の実務担当者として積極的な活用を図ります。

⑤ 低所得者への生活支援事業

(ア) 生活福祉資金貸付事業

(イ) 生活保護世帯等一時貸付事業

⑥ 家族介護者のつどい事業

⑦ 福祉用具リサイクル斡旋事業

⑧ リフトカー貸出事業

(3) 団体・施設等の支援

(126, 291千円)

高齢者や障がい者、子育て世代等の社会参加を促進し、交流を深めるため、各種団体を支援します。また、社会福祉施設等の職員の資質の向上、福利厚生の実充など、職員が生き生きと満足して働ける環境の整備を支援し、福祉サービスの質の向上を図ります。

① 福祉バス事業

② 歳末たすけあい運動募金配分事業

③ 社会福祉施設等支援事業

(ア) 社会福祉事業従事者研修

(イ) 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

(ウ) 民間保育施設整備資金貸付事業

(エ) 施設整備利子補助事業

(オ) 更生保護施設助成事業

4 福祉の心を育みます

(1) 福祉学習の推進 (1,851千円)

学校や地域、市民に対し、福祉についての学習の機会や教材等を提供し、理解と関心及び意識を高め、福祉活動への参加の動機づけを図ります。

- ① 福祉学習教材の提供
 - (ア) 児童・生徒への福祉読本
 - (イ) 福祉体験学習マニュアル『福岡市の福祉教育お役立ち Book』
- ② 出前福祉講座
- ③ ボランティア体験事業

(2) 福祉啓発・情報提供機能の充実 (4,690千円)

市民や企業の福祉への理解を深めるため、広報活動や事業を通して福祉啓発を図り、福祉活動への参加を促します。また、様々な関係機関との連携や既存機能の充実により福祉に関する情報提供を行います。

- ① ホームページや広報紙を通じた情報発信
- ② 福祉のまちづくり推進大会
- ③ 福祉啓発イベント「ハートフルフェスタ」
- ④ 出前ボランティアセンター事業
- ⑤ 対面朗読サービス

5 市民福祉プラザ事業を推進します

市民の福祉への理解を深め、福祉活動への参加を支援するため、市民福祉プラザの指定管理者として、市民が安心して利用できるよう管理運営を行うとともに、入居団体等と連携して研修及び啓発事業、相談事業等を実施し、プラザ機能の一層の充実を図ります。

(1) 福祉活動拠点機能の充実 (188,708千円)

- ① 貸室運営
- ② 障がい者作品展、利用団体写真展の実施
- ③ 福祉映画観賞会の開催
- ④ プラザ利用団体、地域団体との懇談会

(2) 市民向けの福祉講座の開催 (726千円)

- ① 市民福祉講演会

(3) 情報提供と相談事業の充実 (26,206千円)

- ① 福祉図書・情報室の運営
- ② プラザ相談窓口研修会の開催
- ③ 福岡シティ Wi-Fi の導入

6 市・区社協の基盤を強化します

(7, 409千円)

(1) 事業推進体制の強化

限られた資源・人材を効率的に投下するために、組織・職員体制を重点配置するとともに、新しい事業の検討や既存事業の見直しを随時行います。

また、サービスの質の向上を図るためのマニュアル整備や IT システムの整備をすすめます。

(2) 職員の資質の向上と人材育成

地域福祉専門職としての職員の資質向上のため、各種研修を実施します。

- ① 職員研修の充実と実施効果の検証・分析
- ② 資格取得への支援（助成制度の利用促進）

(3) 財源の確保

自主財源確保のため、事業や寄付金制度の PR を強化するとともに、会員の拡充を図ります。また、ファンドレイジングの開発に向けて取り組みを進めます。

(4) 収益事業の実施（収益事業特別会計）

プラザのレストランの運営及び自動販売機の設置により、プラザ利用者の利便を図るとともに収益金を本会事業に活用します。

(5) 第4期地域福祉活動計画の進行管理

評価委員会を設置し、第4期地域福祉活動計画の進行管理を行います。

(6) 社会福祉法人新会計基準への移行準備

社会福祉法人新会計基準へ平成27年度からスムーズに移行するため、必要な情報を収集し、環境の整備を図ります。

(7) 社協起動プラン（案）の実行（再掲）

(8) 地域福祉に関する新規事業の開拓

事業項目別予算内訳

☆金額の単位は千円です。

1 地域の支え合い活動の充実を図ります

(1) 校区社協とともに進める福祉のまちづくり

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①校区社協への活動支援	53,331	54,176	▲ 845	
②校区社協会長研修会	101	101	0	
③校区福祉座談会の開催	1,431	1,512	▲ 81	
計	54,863	55,789	▲ 926	

(2) 住民の主体的参加と相互に支え合うまちづくりの推進

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①ふれあいネットワーク活動の拡充	18,935	18,000	935	
②ふれあいサロン活動の拡充	19,872	18,900	972	
③あんしんサービス創造モデル事業	1,000	1,000	0	
④地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業	21,902	19,680	2,222	
⑤シニアアシストふくおか事業	3,919	0	3,919	新規事業
⑥シニア地域サポーターモデル事業	1,125	0	1,125	新規事業
⑦安心情報キット配付事業	5,500	15,853	▲ 10,353	
⑧買物支援ハンドブックの作成（全市展開）	49	0	49	新規事業
⑨生活支援サポーターモデル事業	824	0	824	新規事業
計	73,126	73,433	▲ 307	

(3) 地域で進める子育て支援

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①ファミリー・サポート・センター事業の拡充	23,766	24,370	▲ 604	
②子育てサロン・サークルの支援	3,825	4,275	▲ 450	
計	27,591	28,645	▲ 1,054	

(4) 民生委員児童委員協議会との連携

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
民生委員児童委員協議会助成事業等	44,411	38,132	6,279	
計	44,411	38,132	6,279	

(5) 共同募金、寄付金等を活用した福祉のまちづくりの推進

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①友愛訪問事業	3,100	3,400	▲ 300	
②共同募金配分事業	548	1,130	▲ 582	
(ア)区社協広報紙発行事業	490	840	▲ 350	
(イ)共同募金推進事業費事業	58	290	▲ 232	
③奉仕銀行運営事業	22,006	23,510	▲ 1,504	
計	25,654	28,040	▲ 2,386	

(6) その他の社協事業

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①区社協事業（区ボランティアセンター事業等）	23,396	26,996	▲ 3,600	
(ア)区社協運営事業（運営費）	17,953	20,859	▲ 2,906	
(イ)地域保健福祉活動推進事業	3,016	3,351	▲ 335	
(ウ)区ボランティアセンター事業	2,427	2,786	▲ 359	
②市社協事業 （法人運営事業、戦没者追悼式、行旅病人一時扶助事業等）	46,981	43,870	3,111	
③緊急時連絡カード事業	225	0	0	新規事業
計	70,602	70,866	▲ 264	

2 多様なボランティア活動を推進します

(1) ボランティア活動相談・調整事業の強化

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①ボランティアコーディネーション事業	3,368	3,669	▲ 301	
②施設等ボランティアコーディネーター研修会	193	281	▲ 88	
③ボランティア活動情報の収集・提供	1,018	760	258	
(ア)登録ボランティアグループ状況調査	15	40	▲ 25	
(イ)施設・病院等ボランティアニーズ調査	48	50	▲ 2	
(ウ)ボランティア情報紙「風」の発行	950	665	285	
(エ)芸能ボランティア情報冊子発行	5	5	0	
計	4,579	4,710	▲ 131	

(2) ボランティアの育成、活動支援

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①各種ボランティア養成講座の充実	1,568	1,381	187	
(ア) 技術ボランティア養成講座	635	380	255	
・点訳ボランティア養成講座	253	0	253	
・朗読ボランティア養成講座	260	260	0	
・視覚障がい者ガイドボランティア養成講座	122	120	2	
(イ) ボランティアリーダー研修会	49	77	▲ 28	
(ウ) シニアボランティア講座	120	133	▲ 13	
(エ) 課題別ボランティア養成講座等	196	160	36	
・高齢者外出ボランティア養成講座	69	65	4	
・バリアフリー映画支援ボランティア養成講座	127	60	67	
・失語症会話パートナー養成講座	0	35	▲ 35	
(オ) 企業ボランティア養成講座、「勤マルの日」事業	568	631	▲ 63	
②登録ボランティアグループへの支援	5,830	5,743	87	
(ア) 活動拠点・資材・情報の提供	759	759	0	
(イ) 福岡市ボランティア連絡協議会への支援	100	100	0	
(ウ) 在宅視覚障がい者サービス等	4,971	4,884	87	
○ボランティア運営事業	3,404	3,377	27	
○在宅視覚障がいサービス事業	542	602	▲ 60	
○情報ネットワーク	552	552	0	
○車いす貸し出し事業	173	173	0	
○ボランティアグループ助成	300	180	120	
計	7,398	7,124	274	

(3) 災害ボランティア活動の推進

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
災害ボランティア講座、災害NPO・ボランティアとの連絡会	949	196	753	
計	949	196	753	

(4) 介護支援ボランティア事業

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
介護支援ボランティア事業	15,235	9,669	5,566	
計	15,235	9,669	5,566	

3 その人らしい暮らしを支えます

(1) 相談機能の充実・強化

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（再掲）	21,902	19,680	2,222	
②心配ごと相談所事業	4,767	4,744	23	
③相談窓口の手引き作成	879	0	879	
計	27,548	24,424	3,124	

(2) 個別支援の強化・拡充

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①日常生活自立支援事業	72,667	71,368	1,299	
②高齢者賃貸住宅入居支援事業	6,580	6,633	▲ 53	
③ずーっとあんしん安らか事業	3,419	4,347	▲ 928	
④成年後見支援事業	13,643	7,495	6,148	
(ア) 市民後見人養成事業	6,604	6,822	▲ 218	
(イ) 法人後見の受任	7,039	673	6,366	
⑤低所得者への生活支援事業	106,203	101,982	4,221	
(ア) 生活福祉資金受付センター	25,283	20,999	4,284	
(イ) 生活保護世帯等一時貸付事業	80,920	80,983	▲ 63	
⑥ホームレス自立支援事業	156	170	▲ 14	
⑦家族介護者のつどい事業	1,120	1,061	59	
⑧福祉用具リサイクル斡旋事業	80	101	▲ 21	
⑨リフトカー貸出事業	480	480	0	
⑩その他の貸付事業（障がい者・高齢者住宅整備資金貸付事業）	2,832	1,237	1,595	
計	207,180	194,874	12,306	

(3) 団体・施設等を通しての支援

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①福祉バス事業	1,376	1,448	▲ 72	
②歳末たすけあい運動募金配分事業	8,065	8,807	▲ 742	
③社会福祉施設等支援事業	116,850	129,453	▲ 12,603	
(ア) 社会福祉事業従事者研修	2,824	3,024	▲ 200	
(イ) 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	53,683	53,370	313	
(ウ) 民間保育施設整備資金貸付事業	15,017	15,134	▲ 117	
(エ) 施設整備利子補助事業	43,496	56,095	▲ 12,599	
(オ) 更生保護施設助成事業	1,830	1,830	0	
計	126,291	139,708	▲ 13,417	

4 福祉の心を育みます

(1) 福祉学習の推進

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①福祉学習教材の提供	1,696	2,081	▲ 385	
(ア) 児童・生徒への福祉読本	536	639	▲ 103	
(イ) 福祉体験学習マニュアル『福岡市の福祉教育お役立ちBook』	1,160	1,442	▲ 282	
②出前福祉講座	68	604	▲ 536	
③ボランティア体験事業	87	46	41	
計	1,851	2,731	▲ 880	

(2) 福祉啓発・情報提供機能の充実

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①ホームページや広報紙を通じた情報発信	1,378	1,498	▲ 120	
(ア) 広報紙発行事業	629	698	▲ 69	
(イ) ホームページ運営事業	749	800	▲ 51	
②福祉のまちづくり推進大会	2,050	2,050	0	
③福祉啓発イベント（区社協主催事業）	824	1,386	▲ 562	
④出前ボランティアセンター事業	78	124	▲ 46	
⑤対面朗読サービス	360	252	108	
計	4,690	5,310	▲ 620	

5 市民福祉プラザ事業を推進します

(1) 福祉活動拠点機能の充実

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①貸室運営（警備等受託金・保守管理等）	188,096	187,244	852	
②障がい者作品展、利用団体写真展	80	676	▲ 596	
③福祉映画鑑賞会の開催	517	517	0	
④プラザ利用団体、地域団体との懇談会	15	15	0	
計	188,708	188,452	256	

(2) 市民向け福祉講座の開催

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
市民福祉講演会	726	726	0	
計	726	726	0	

(3) 情報提供と相談事業の充実

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①福祉図書・情報室の運営	26,156	26,223	▲ 67	
②プラザ相談窓口研修会の開催	50	50	0	
計	26,206	26,273	▲ 67	

6 市・区社協の基盤を強化します。

事業名	25N予算額	24N予算額	増減	特記事項
①職員研修の充実、資格取得への支援	2,541	1,962	579	
②ファンドレイジング推進事業	292	0	292	新規事業
③第4期地域福祉活動計画の進行管理	231	250	▲ 19	
・社協起動プランの実行	4,345	3,563	782	新規事業
計	7,409	5,775	1,634	